

令和元年度 教育行政点検評価資料
(平成30年度 取組事業概要)
教育行政評価委員からの意見

伊賀市教育委員会

教育総務課	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	1
学校教育課	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	2
給食センター	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	7
生涯学習課	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	8
公民館	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	13
教育集会所	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	19
文化財課	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	25
上野図書館及び分館図書室	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	27

努力目標達成のための指標 教育総務課

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (H30年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
					H30年度実績値	2019年度目標値					
教育総務課	子どもたちが、安心して学べる	1	校区再編事業の推進	長田・新居小学校再編計画 新居小学校既設校舎改築事業	* 統合校舎整備のうち、既設校舎解体工事及び新校舎の建築工事を行った。	進捗率50%	進捗率100%	620,680	継続	<p>【藤本委員】 ○統合前の各小学校をサポートしていた地域の支援体制を統合後もできるだけ有効に維持・活用されたい。</p> <p>【岡山委員】 ○来年度実施に向けての最終的な環境整備を願う。</p> <p>地域合意の問題点を再検討しながら早く進めてもらいたい。足踏み状態が長いと、当初の児童数と現況の児童数ではかなりの違いが生じてきているのではないかと。別角度からの検討も必要では？</p>	
				阿山地区小学校再編計画	* 阿山小学校と玉瀧小学校の小学校統合を推進するため、玉瀧地区及び玉瀧小学校PTAとの協議を行った。	進捗率85%	進捗率90%	—	継続		
				上野南部地区小学校再編計画	* 依那古小学校と神戸小学校、比自岐小学校の統合について、神戸小学校PTAとの協議を行った。	進捗率10%	進捗率30%	—	継続		
		2	学校（園）施設の整備充実	上野西小学校屋内運動場改修事業	上野西小学校大規模改造事業を実施するにあたり、設計業務委託を実施した。	進捗率20%	進捗率100%	4,720	継続		<p>【岡山委員】 ○ゴールは見えているので一日でも早い実施を望みます。</p>
				新小学校給食センター建設事業	新小学校給食センターの整備を行うため、給食センター用地を取得し、配送校給食室改修工事実施設計業務委託を実施しました。	進捗率30%	進捗率100%	39,485	継続		

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	1・21 創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくり 創造的で活力ある園づくりの推進	地域とともに学校マニフェスト推進事業	<p>○各小中学校(園)に学校評議員、学校評価委員を配置し、家庭や地域と連携し、地域や社会に開かれた学校づくりを推進した。</p> <p>○学校運営協議会の運営により、保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、学校、保護者、地域住民が一体となって心豊かで健やかな子どもたちの育成を図った。</p> <p>○学校支援地域本部事業を推進し、学校と地域が一体となって子どもたちを育て、地域とともにある学校づくりを進めた。</p>	<p>設置者による評価値</p> <p>小中学校 85.0点 幼稚園 85.0点</p> <p>市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:90%</p>	<p>設置者による評価値</p> <p>小中学校 85.0点 幼稚園 85.0点</p> <p>市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合:90%</p>	14,482	継続	<p>一定の評価は得ているものの、今後も各校(園)が、情報を積極的に発信し、理解と協力を求める必要がある。</p>	<p>【藤本委員】</p> <p>○各学校の評議員が会議に限らず年間を通じて、学校の助言、協力ができる体制づくりを望みたい。教員の働き方改革でも外部意見を大いに取り入れてはどうか。</p> <p>マニフェスト作成過程において校長と教員が同じレベルの認識を持てるよう、確認徹底されたい。</p> <p>【岩佐委員】</p> <p>○保護者の賛同が高いことは評価されますが、10%の意見にも耳を傾め、考慮できることがあれば改善に努められたい。</p> <p>【岡山委員】</p> <p>○引き続き地域とともにある学校づくりを充実してもらいたい。</p>
		2・22 確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	学力向上推進事業	<p>○各小中学校で学力向上アクションプランを作成し、計画・実行・評価・改善のサイクルを定着に努めた。</p> <p>○伊賀市学力向上プロジェクト委員会を実施し、課題の分析、解決に向けた取り組みへの提言等をおこなうとともに、学力向上改善研修会を開催した。</p> <p>○中学校1年生で標準学力検査を実施した。学力向上アドバイザーを各小中学校に派遣した。</p> <p>○「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、小学校1年生、中学校1年生に配付した。</p> <p>○全国学力・学習状況調査(国費)、みえスタディ・チェック(県費)を実施した。</p>	<p>標準学力検査における市内小中学校の平均点の全国比中学校:96.8</p>	<p>標準学力検査における市内小中学校の平均点の全国比中学校:107</p>	3,723	継続	<p>学力の向上は、児童生徒、保護者、地域の願いであり、最重要課題の1つである。今後も課題分析と、その解決に向け、学校、教育委員会が取組を進める。</p>	<p>【藤本委員】</p> <p>○高い目標は望ましいが、状況分析を土台にして、当面平均点に近づく諸方策を継続されたい。</p> <p>【加納委員】</p> <p>○NRTと全国学調とが混ざってきて非常にはんざつではないか。</p> <p>【岡山委員】</p> <p>○更なる目標値の引き上げと共に、落ちこぼれのない全体のレベルアップを目指してほしい。</p> <p>【西井委員】</p> <p>○本事業が、とりわけ学力面や生活面で厳しい状況に置かれている子どもや保護者に展望を与えるものになることを切に願う。</p>

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	教職員研究研修経費	○部会別教育研究活動の充実を図った。 ○職場教育研究交流会、夏季教育講演会を開催した。 ○研究指定校研究推進事業の充実を図った。 (久米小学校、大山田小学校、中瀬小学校、大山田中学校)	研修講座への参加人数 参加者数:1,094人 (H30年度は、伊賀市教育研究集会在台風のため中止となった。)	研修講座への参加人数 参加者数:1,500人	5,643	継続	経験の浅い若手教員の割合が増加していることから、指導力の向上が課題であり、今後も充実を図りたい。	【加納委員】 ○若手教職員の増加から教師力向上を目的とした研修の機会が、ますます重要である。さらに参加教員の意欲を促す取り組みを期待する。 【岩佐委員】 ○若者を育てるには、ご苦労もありますが、先輩、熟練者がよき手本となる行動や姿勢が大切かと思えます。また、相談できる雰囲気、環境づくりも必要かと思えます。 【岡山委員】 ○最近の教職員の働き方の問題の解決と共に参加者の充実を求める。
		3 人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成	人権同和教育推進事業	○伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行った。 * 幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行った。	人権・同和教育の推進を「十分図れた」「図れた」学校数:31校	人権教育カリキュラムの見直しを「十分図れた」「図れた」学校数:31校	3,530	継続	児童生徒の学校における人権侵害(差別事象)の現状は、障がいにかかわる差別発言や外国人に対する発言等、依然として多い。今後も地域や家庭、様々な関係機関と連携しながら、取組を進めていく必要がある。	【藤本委員】 ○人権同和教育の努力に敬意を表す。障がい者、外国人、LGBTなど新たな視点や認識の変化に応じた人権教育に努力をお願いしたい。 【加納委員】 ○差別発言が多数報告される現状については、個々の事象を丁寧に解決に向けた取り組みを進めていることと思うが、地域や家庭を巻き込んだ啓発は、学校から発信するしかない。ひるむことなく取り組みを継続してほしい。 【西井委員】 ○差別事件、事象の報告が100件を超えて報告されている現状と市内ほとんどの学校が自校の人権同和教育推進を「十分図れた」「図れた」と答えていることにギャップを感じる。
		24 人権・同和教育の推進		学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数: 5回以上	学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数: 5回以上				継続	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	4	キャリア教育の推進	キャリア教育推進事業	<p>○「自分発見！中学生・地域ふれあい事業」において、全10中学校で職場体験活動を実施した。</p> <p>○各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究した。</p> <p>○「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、児童生徒の社会的・職業的自立に向けた指導のあり方等について、研修を深めた。</p>	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と答えた生徒の割合：88%	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と答えた生徒の割合：90%	2,508	継続	<p>職場体験のみならず、児童生徒が自らのキャリアビジョンを持てるようキャリア教育を充実させていく。</p> <p>【東 委員】 ○キャリア教育の重要性、必要性について、また、各校の連携が整っていないということであるが、調整、交流を図ってほしい。</p> <p>【岩佐委員】 ○経験から生きがいや生き方につながるような職場体験を期待したい。</p> <p>【岡山委員】 ○自分の将来を考えるきっかけとしても重要な事業であるため、引き続き精査・拡大に努められたい。</p>
		7 23	生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成 豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	生徒指導推進事業	<p>○各学校において家庭訪問、巡視・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組んだ。</p> <p>○スクール・ソーシャル・ワーカーを2人配置し、学校からの要望に基づいて、家庭支援や制度利用支援を行っています。</p> <p>○全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を試行し、調査の方法・活用等の理解を図った。</p> <p>○全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制を作りに努めた。</p>	小中学校における問題行動発生件数：39件	小中学校における問題行動発生件数：0件	4,225	継続	<p>関係機関との連携を強化しながら、問題行動への対処にとどまらず、未然防止に向けた取組を進める。</p> <p>【東 委員】 ○伊賀市では、体罰などの相談はないと思うが、いじめ問題は残念ながらなくなっていない。</p> <p>○不幸な子供たちを増やさないため、日々の注意、体制作りを希望する。</p> <p>【岡山委員】 ○(取組事業全般に、この指標に表れている数字が何となく不安にならざるを得ない。人権同和教育の分野でも述べたが、数字にとらわれすぎであることの象徴でもあると思う。ヒヤリング時に訂正がなされたものの改めて考えてもらいたいことである。) Q-U調査の継続とともに、スクールソーシャルワーカーの増員もまだまだ必要ではないかと思う。</p>

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	8 28 29 不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進 教育相談の実施 不登校児童生徒の支援	不登校児童生徒支援事業	○伊賀市教育研究センター(ふれあい教室)で、不登校児童生徒に対する適応指導活動、児童・生徒及び保護者との教育相談活動を実施した。 ○不登校の実態把握に努めるとともに、教育相談に関わる教職員研修を実施した。	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合: 88%	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合: 100%	5,769	継続	関係機関と連携しながら、きめ細かい取組を進めるとともに、教育相談の充実を図る。	【藤本委員】 ○民間の協力組織や専門機関の先進的な知見を積極的に取り入れてほしい。 【加納委員】 ○「教育相談の充実」とあるが、指導者である教職員が指導と相談を両方受け持つのは限界があると思う。公私問わず専門機関の情報を発信してほしい。 【岩佐委員】 ○デリケートな問題化と思いますが、信頼関係のある(できる)場所としての環境づくりをお願いしたい。 【岡山委員】 ○ふれあい教室の更なる充実が必要ではないかと思う。
		10 子どもたちの安全・安心の確保	教育振興一般経費	○教育活動サポーターの配置、自転車ヘルメットの配付・「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保した。	登下校中の小中学生の交通事故発生件数 12件	登下校中の小中学生の交通事故発生件数 0件	23,984	継続	児童生徒の安全の確保に向け、今後も地域の協力を得ながら取組を進めていく。	【藤本委員】 ○不審者情報の迅速な共有とともに、地域住民の既存のサポート体制の維持に努めてほしい。
		11 ・ 26 特別支援教育の充実 個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	特別支援教育充実事業	○教育支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制を作った。 ○児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげた。	教育学習支援員・特別支援教育支援員配置: 42.5人	教育支援員・特別支援教育支援員配置: 44人	61,365	継続	支援を必要としている児童生徒の割合は増加している。ニーズに応じた支援が今後増々必要である。	【加納委員】 ○支援が必要な児童生徒が547名で支援員44名配置で充実した支援ができるのか、学級設置数も増えているだろうが、市としての幼児期からの育ちを追った特別支援体制の見直しをする必要があるのではないか。 【岩佐委員】 ○現代社会において増加傾向にあり、さまざまな分野からも社会的にも警告意識を持っていただきたい。 【岡山委員】 ○更なる特別支援教育の充実を願う。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	13 外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	外国人児童生徒支援事業	<p>○初期適応指導教室(チャレンジ教室)を開校した。</p> <p>○「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイド」を実施した。</p> <p>○日本語指導者研修会を開催した。</p> <p>○外国人児童生徒日本語指導補助員を配置した。</p> <p>○日本語指導コーディネーターを派遣した。</p> <p>○教育相談、保護者への説明の際の通訳派遣、翻訳支援を実施した。</p>	高校進学率(H30年度卒業生): 97.4%	高校進学率(H31年度卒業生):90%	6,482	継続	<p>外国にルーツを持つ児童生徒の割合は増加している。進路保障を見据えた取組が今後も重要だと考えている。</p>	<p>【藤本委員】</p> <p>○「進路ガイド」の行事が継続されてきた。官民の努力に敬意を表したい。日常的に外国人保護者と児童生徒が気軽に進路相談できる機会を工夫して増やしていただきたい。</p> <p>【加納委員】</p> <p>○外国人児童生徒が増加する中、伊賀市の支援体制や進路保障を継続して進めてほしい。</p> <p>【岡山委員】</p> <p>○出身国の多様化にあった人材育成に努められたい</p>
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	14 外国語教育の推進	英語指導助手招へい経費	<p>○外国語活動指導助手(JETプログラム事業)を各中学校へ派遣した。</p> <p>○外国語活動指導助手(直接任用)を各小学校へ派遣した。</p> <p>○小学校外国語指導者研修会を実施した。</p>	・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.9日	・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約9日	20,268	継続	<p>小学校5・6年生の英語教育の実施、中学校の英語教育の充実に向けた課題など、事業のニーズはさらに高まっていると考えている。</p>	<p>【藤本委員】</p> <p>○小学校の英語教育の人材養成のため市独自の取組みに今後とも努力されたい。</p> <p>【加納委員】</p> <p>○本年度実施された全国学調から英語科について多くの課題が議論されている。ALT派遣がその課題克服の一助となるよう学校での授業づくりを充実させてほしい。</p> <p>【東委員】</p> <p>○ALTが3人に減ったことで、ALTの負担が増す、あるいは、英語教育が行き届かないということが無いように望みます。</p> <p>【岡山委員】</p> <p>○小学校での英語教育に対応出来る教員のレベルアップに一層励んでもらいたい。</p>
		27 教育研究の推進充実	教育研究センター管理運営費	<p>○教育研究センターの管理運営を行った。</p> <p>・学校教育及び社会教育関係者の研修会等を開催した。</p> <p>・教職員、学校、地域の連携等、教育活動の推進が図れるよう支援に努めた。</p>	会議室使用延べ人数: 11,450人	会議室使用延べ人数: 12,000人	6,820	継続	<p>今後も積極的な運用を促進していきたい。</p>	<p>【岡山委員】</p> <p>○意義ある研修会を望むとともに、将来、生涯学習や地域での学習会等の分野でも活躍できる人材の育成としても考えていってほしい。</p>

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
給食センター	子どもたちが、安心して学べる	20 学校給食の充実	学校給食管理事業	<p>* JAなどの物資納入業者と連携し、物資の確保や価格の調整を図りながら、地場産、特に伊賀産品の優先的に取り入れた。</p> <p>* 地元食材を紹介する「給食だより」を発行し、市ホームページでは中学校給食の献立表を掲載した。</p> <p>* 施設見学、中学生の職場体験受入れなどにより、学校給食業務の啓発を行った。</p>	<p>地場産食材(県内産・伊賀産)購入率(年間平均)3センター平均 28.0%</p> <p>・いがっこ給食センター夢:30.0%</p> <p>・阿山給食センター:29.0%</p> <p>・大山田給食センター:26.0%</p>	<p>地場産食材(県内産・伊賀産)購入率(年間平均)3センター平均:30.0%</p> <p>・いがっこ給食センター夢:30.0%</p> <p>・阿山給食センター:30.0%</p> <p>・大山田給食センター:30.0%</p>	160,628	継続	<p>安心・安全な給食を提供する上で、児童・生徒・保護者に給食を知ってもらうことが重要である。そのために、啓発に力を入れ、保護者には試食会を実施、生徒に対しては給食メニューのリクエストを出してもらう、また、生徒に対し実際に調理している映像を見せて、食育の授業をするなどを試みた。すべての試みで、それぞれの反応がよかったので、満足できる結果となったが、これからも、新たな手法を考えながら啓発には力を入れ続けたいと考える。</p>	<p>【藤本委員】 ○生徒への給食啓発努力工夫に敬意を表し、今後とも努力に期待したい。</p> <p>【岩佐委員】 ○安心安全な食品、アレルギー対応など様々な問題があり、ご苦労なことと思いますが、残飯状況から新たな改善策に取り組んではどうでしょう。</p>

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
生涯学習課	生涯を通じ、生きがいを持ち活動できる	1	社会教育の推進	成人式式典 平成31年1月13日(日) 午11時30分から ○中学校区別(9ヶ所)で開催 崇広中学校区 (ハイトピア伊賀5階) 城東中学校区 (前田教育会館蕉門ホール) 緑ヶ丘中学校区 (ヒルホテルサンピア伊賀) 上野南中学校区 (ゆめぽりすセンター) 柘植・霊峰中学校区 (ふるさと会館いが) 阿山中学校区 (あやま文化センター) 島ヶ原中学校区 (島ヶ原温泉多目的ホール) 大山田中学校区 (どんぐりホール) 青山中学校区 (青山ホール) 対象者 910名 参加者 688名	参加率:75%	参加率:75%	1,712	継続	実行委員募集の葉書を対象者へ直送することで、自ら進んで応募の新成人が増えた。	【藤本委員】 ○各地区で様々なアイデアを取り入れ運営に努力している。マンネリ化に陥らないよう今後とも活発な議論と工夫を続けてほしい。 【岩佐委員】 ○徐々に中学校区のスタイルが定着しつつありますが、マンネリ化にならないよう努力していただきたい。 【岡山委員】 ○他の中学校卒業生や転入者が参加しやすくなったことはよいことである。
		3	地域づくりの支援	生涯学習推進啓発事業 *自治協役員や公民館職員を対象に住民力を高める市民交流としてまちづくりのための勉強会を開催した。(2回) *地域課題や活動事例についての交流、専門家の指導による講習などを通して地域における学びの交流会を開催した。(5回)	参加者数:160名	参加者数:160名	54	完了	今後の地区間交流を深める意図で、地域活動を一つの冊子にまとめることを目標に3月末に作成・配布することができた。今後は、活動事例を基に地区間交流を深めるきっかけづくりを行っていく必要がある。	【東委員】 ○きめ細かい勉強会の成果が出て自治協にまちづくりの意識が高まっているように思う。ただ、運営資金を切りつめなければならないところもあり、難しいところである。 【岩佐委員】 ○冊子を作ることで完了に終わらないよう地区間の交流を深める具体的な取り組みを望みます。 【岡山委員】 ○ある一定の評価につながるものの、今後は自主的な市民参加や協力体制がさらに進むことを期待する。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
生涯学習課	部落差別をなくす	4	人権尊重の精神を培い、主体的に行動のできる人づくり	教育集会所交流事業 伊賀市教育集会所交流事業「みんなよっといで！」を実施しました。 参加者数:196名 (参加児童・生徒、引率スタッフ、指導者含む) 内容:各教育集会所で開催している地区学習会の取り組み成果発表と交流会を開催 伊賀市教育集会所中学生交流会を実施しました。 参加者数計:45名(参加生徒、引率スタッフ、指導者含む) 伊賀市高校生・青年人権学習交流会を実施しました。 参加者数計:56名 (高校生、青年・引率スタッフ等含む) 内容:第1回 全国高校生・青年大会事前学習会(42名) 第2回 広野教育集会所青年高校生との交流会(25名) 第3回 インターネットにおける人権学習交流会(41名)	参加者アンケートの満足度:99.5%	参加者アンケートの満足度:95%	506	充実	教育集会所を中心に差別をなくすために学習活動を実施している小・中・高・青年が交流事業を通じて差別をなくす仲間とのつながりを深めるための場となった。 【藤本委員】 ○いずれも参加者の満足度の高い事業になっていることは評価したい。 【岩佐委員】 ○どんな場面、場所でもコミュニケーションが図れるよう、その交流の工夫をさらに考慮していただきたい。 【岡山委員】 ○更なる充実度を目指して継続を。 【西井委員】 ○すべての参加者が差別をなくす仲間の存在とつながりを確認できる有意義な場だと思う。また、人権リーダーを育成する観点からも重要な取り組みだと思う。	
					8	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業 ①伊賀市社会同和教育指導員(条例7名のうち、1名)と臨時職員1名を任用し、伊賀市における社会同和教育の推進・充実と発展をめざしました。 ②伊賀市内の人権同和教育の充実と発展に資する目的で、伊賀市人権同和教育研究協議会と上野社会同和教育研究会へ、人権同和教育研究活動事業を委託しました。 ③伊賀市・伊賀市教育委員会が主催・共催・後援する、同和教育をはじめ、人権尊重と啓発の研修・講演・学習会など、あらゆる機会をとらえて、人権同和教育の研究推進・人権啓発を行いました。 ④いがまち公民館の同和教育研究事業を行いました	参加者数:8,601人	参加者数:8,500人	12,234
12部会の開催回数:60回	12部会の開催回数:60回	継続								
開催回数:小学校3.4.5年中学校1.2.3年各1回 参加者数:414人	開催回数:小学校3.4.5年中学校1.2.3年各1回 参加者数:410人									
	開催回数:15回	開催回数:15回	継続							
	開催回数:1回 参加者数:159人 開催回数:1回 参加者数:257人 開催回数:8回 参加者数:300人	開催回数:1回 参加者数:200人 開催回数:1回 参加者数:300人 開催回数:10回 参加者数:320人								

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					2018年度実績値	2019年度目標値					
生涯学習課	部落差別をなくす	8	人権問題啓発活動の推進	同和問題啓発事業	(いがまち) ・人権パネル展示 ・人権図書コーナー設置 ・公民館人権研修会	開催回数:2回 参加者:437人 蔵書数:345冊 開催回数:1回 参加者数:68人	開催回数:2回 参加者:500人 蔵書数:360冊 開催回数:1回 参加者数:70人	20	継続	人権・同和教育や人権啓発を推進する指導者の育成に努めます。	【藤本委員】 ○各地域の講演会において、地域役員や学校、企業、組織関係者に加え、一般住民が交互に多数参加できるよう工夫を続けてほしい。 【岡山委員】 ○啓発事業は根強い継続が大切だと思う。多少の地域間格差はあるように思えるが、引き続き学習機会の充実を図りたい。
					(阿山) * 人権作文・ポスター展示 * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 人権同和問題学習講座	開催回数:1回 来館者数:582人 開催回数:7回 来館者数:5,682人 開催回数:1回 蔵書数:214冊 開催回数:4回 参加者数:452人	開催回数:1回 来館者数:600人 開催回数:12回 来館者数:6,000人 開催回数:1回 蔵書数:210冊 開催回数:4回 参加者数:500人	101	継続	回覧・チラシ等で集客している。人権啓発の効果はあったと感じる。	
					(大山田) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 文化講演会 * サークル団体等人権研修会	開催回数:12回 蔵書数:257冊 開催回数:1回 参加者数:40人 参加者数:20人	開催回数:12回 蔵書数:265冊 開催回数:1回 参加者数:50人 参加者数:40人	0	継続	文化講演会及びサークル団体等人権研修会の参加者増加のため、より周知する必要がある。	
					(青山) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 公民館人権研修会	開催回数:12回 参加者数:3,900人 開催回数:4回 開催回数:2回 参加者数:83人	開催回数:12回 参加者数:4,000人 開催回数:4回 開催回数:2回 参加者数:85人	0	継続	幅広い年齢を対象に多様な人権への取り組みとして継続実施が必要である。	
	子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	○第11回「輝け！いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け！いがっ子憲章を周知・啓発を行った。○青少年健全育成推進大会 午前の部 人形劇「てぶくろをかいに」 午後の部 講演会「子どもたちの輝く未来のために～今、私たちにできること」を開催した。 ○伊賀市青少年育成市民連絡会議へ青少年育成活動事業の補助をし、地域住民との交流、世代間交流、自然の中での体験など各団体の特色を生かす事業を実施した。 ○青少年非行防止活動強化月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)、未成年者喫煙防止キャンペーンとして青少年健全育成市内一斉活動を実施した。 ○伊賀市青少年ネットワークづくり研修会、伊賀地区こどもわかもの育成支援のための支部研修会開催した。	青少年健全育成推進大会参加者数 午前の部 人形劇210人 午後の部 講演会57人	青少年健全育成推進大会 (人形劇・講演会) 参加者数:200人	2,539	継続	青少年を取り巻く状況を把握し、健全育成活動に取り組む体制が、各地区育成団体において、基盤ができています。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
生涯学習課	子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	放課後子ども教室 伊賀市内で3つの教室を実施しました。 柘植教室:柘植放課後子ども教室運営委員会 毎週水曜日の放課後から午後6時まで。長期休業中は午前7時から午後6時まで。 西柘植教室:西柘植放課後子ども教室運営委員会 毎月4回(水曜)。放課後から午後6時まで。長期休業中は午前9時から午後5時まで。 古山教室:古山放課後子ども教室運営委員会 毎週水金曜日の放課後から午後6時まで。長期休業中は午前8時30分から午後6時まで。 ○放課後子どもプラン施策検討委員会の開催 日時:平成30年11月14日(水) 西柘植放課後子ども教室及び西柘植放課後児童クラブ見学後に会議 内容:国が策定の「新・放課後子ども総合プラン」紹介 伊賀市の放課後児童クラブや放課後子ども教室の現状	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計):11人	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計):12人	2,271	継続	それぞれの教室で工夫をし、特に長期休みや休日などには普段出来ない体験イベント等を開催している。 【藤本委員】 ○教室スタッフの人材確保、基本的対応の統一、運営レベルの維持のために、スタッフの研修機会を設けてはどうか検討されたい。 【岡山委員】 ○子ども達の安心安全の環境づくりに不可欠な事業である。放課後児童クラブとの連携をさらに工夫されたい。	
				街頭補導活動:毎月4回の定時補導等を実施した。 ○青少年相談活動:市広報などを通して、電話や面談による青少年相談活動の周知を行った。 ○環境浄化活動:青少年にとって有害な環境点検のパトロールを三重県任命立入調査員の協力を得て、コンビニエンスストア・書店・小売店へ出向き、低俗な広告物・有害玩具・不良環境などの排除への協力を行った。	被補導少年数:25人	被補導少年数:20人	5,191	継続	青少年を取り巻く劣悪な社会状況を早く把握すると共に、関係機関、関係団体と連携し、補導活動等が必要な場所等を随時検討し、補導ルートなどの改善を行い、対応を行った。 【加納委員】 ○指標について、定時の補導は様々な団体から参加しているため、その人数を指標としてはどうか。 【岡山委員】 ○定時補導の実施については十分に行われていると思うが、最近のスマホの普及による問題点が山積みであると思う(大人も含めて)。この対策や啓発の実施が緊急課題ではないでしょうか。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					2018年度実績値	2019年度目標値					
生涯学習課	子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	(いがまち) ○夏、冬の体験教室	開催回数:2回 参加者数:104人 (夏季) 参加者数:80人 (冬期)	開催回数:2回 参加者数:100人	0	継続	青少年の自主・自立活動並びに社会体験活動等とおして社会参加の推進及び自立に向けた支援に努めます。	【岩佐委員】 ○各地域地道な活動に敬意を表します。 【岡山委員】 ○青少年センターとの連携など対策や啓発の充実をされたい。
					○小中学生下校時パトロール	開催回数:15回	開催回数:18回				
					○非行防止夏季夜間パトロール	開催回数:1回 参加者:43人	開催回数:1回 参加者:50人				
					○家庭教育講演会	開催回数:1回 参加者数:29人	開催回数:1回 参加者数:50人				
					(島ヶ原) ○夏、冬の体験教室	開催回数:32回 参加者数:124人	開催回数:25回 参加者数:100人				
○非行防止事業	開催回数:1回 参加者数:17人	開催回数:1回 参加者数:20人									
○体験型学習	開催回数:17回 参加者数:578人	開催回数:10回 参加者数:300人									
					(阿山) ○青少年非行防止パトロール	開催回数:4回 参加者数:59人	開催回数:4回 参加者数:70人	0	継続	街宣活動・パトロールや各種啓発イベントなどの継続により青少年健全育成に対する啓発効果はあると考える。	
				○人づくり市民会議事業連携	開催回数:20回 参加者数:499人	開催回数:16回 参加者数:500人					
					(大山田) ○むらびとづくり推進会議事業連携	開催回数:7回	開催回数:8回	0	継続	引き続きむらびとづくり推進会議と綿密な連携を深め、活動を推進していく。	
					(青山) ○防犯ネットワーク会議	開催回数:2回	開催回数:2回				
					○小中学生下校時パトロール	開催回数:85回	開催回数:85回	0	継続	今後も他課との連携による継続実施を行う必要がある。	
					○青山青少年育成会議事業連携	開催回数:11回	開催回数:11回				

所属	施策	努力目標	取組事業名	施設	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
						2018年度実績値	2019年度目標値					
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	上野公民館	通年講座である悠々セミナー(9回)、脳&足筋体幹予防講座(8回)を実施した。	開催回数:17回、参加者数:764人	開催回数:17回、参加者数:800人	153	継続	概ね60歳以上の人の参加が多く、若い世代の参加者を増やす工夫が必要	【藤本委員】 ○それぞれの地域で公民館が趣味サークルの活動の場を提供していることは意義深い。いくつか、コーラスや芸能を趣味で行っているグループの発表会で入場料を徴収しているところがあるが、この是非について検討、整理できないか。 【岩佐委員】 ○地域によって内容、人数等が違って当然ですが、同じような予算にも幅があるようです。精査をし、基準となるモノサシが必要かと思えます。 【岡山委員】 ○各地域それぞれの特徴ある事業として継続を期待するとともに、各サークル活動や講座・教室の自立を支援すること、伊賀全体での統一した事業への発展に対する支援等推進されたい。
						初心者を対象にパソコン教室を行った。	開催回数:10回、参加者数:87人	開催回数:10回、参加者数:100人	66	継続	学習ニーズはあるが、個人差があり、レベルに応じた対応が必要	
						初めての講師サポート事業を実施し、6事業を採択した。	開催回数:18回、参加者数:114人	開催回数:15回、参加者数:130人	17	継続	新たな講師の発掘の機会になった。サークルへの進展も見られた。	
						ゆかた着付体験、天神祭における着物の着付、だんじり乗車体験、写真教室に加えて、おりがみ教室やハーバリウム教室を開催した。	開催回数:5回、参加者数:78人	開催回数:3回、参加者数:45人	92	継続	小学生と保護者を対象に体験学習に取り組めた。定員に満たない講座があった。	
						上野児童福祉会連合会への委託事業(青少年健全育成事業)	開催回数:3回、参加者数:531人	開催回数:5回、参加者数:600人	1,508	継続	青少年健全育成の観点から継続実施が必要である。	
						上野児童福祉会連合会への委託事業(ふるさと学習事業)	開催回数:7回、参加者数:104人	開催回数:6回、参加者数:110人	100	継続	青少年健全育成の観点から継続実施が必要である。	
						いがっこ通信の発行を今年度から中止した。	発行回数: 回 (未実施)	—	0	廃止	発行部数の減少に加え、事業集約に関わる業務量に対する効果が少ない。	
						亥の春展として、子どもを対象とした絵画と一般対象の絵馬の作品を募集し、期間中の掲載に努めた。	参加者数:185人	参加者数:200人	94	継続	歴史のある取り組みであり、継続実施が必要	
						上野サークル協議会主催のサークルまつりの開催を支援した。	サークル数:22	サークル数:22	120	継続	サークル活動の発表の場として継続した支援が必要	
公民館サークルの育成を行った。	回数:2回	回数:2回	0	継続	サークル活動の育成を図り、活動支援に取り組んだ。							

所属	施策	努力目標	取組事業名	施設	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
						2018年度実績値	2019年度目標値					
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	上野公民館	上野公民館分館活動事業を21分館へ委託した。	分館数:21、事業数:46	分館数:21、事業数:46	6,130	廃止	分館廃止後も生涯学習活動推進のため、継続した支援が必要	
					いがまち公民館	公民館一般講座	開催回数:38回、参加者数:604人	開催回数:36回、参加者数:700人	218	継続	学習内容の充実に努めるとともに世代間の交流を図ります。	
						公民館こども講座	開催回数:12回、参加者数:222人	開催回数:12回、参加者数:300人	75	継続	こどもの健やかな成長をめざします。	
						読み聞かせ会	開催回数:29回、参加者数:598人	開催回数:30回、参加者数:600人	30	継続	想像力豊かな子どもの育成に努めます。	
						やまなみ文化協会育成	回数:2回	回数:2回	299	継続	次世代につなげるため、人材育成を図ります。	
						やまなみ文化祭	開催回数:1回、参加数:10団体	開催回数:1回、参加数:13団体	0	継続	文化祭を通して、学習成果の発表の場の提供に努めます。	
						いがまち展覧会	開催回数:1回、出展者数:761人	開催回数:1回、出展者数:800人	40	継続	展覧会を通して、各種団体、区、協会、老人会等の作品展示の場の提供に努めます。	
						いがまち分館(柘植公民館)活動事業	分館数:1、開催回数:0	分館数:1、開催回数:0	0	廃止	公共施設最適化計画において、分館機能は廃止します。	
					島ヶ原公民館	健康体操教室・初心者のパソコン教室・彩々教室・歴史文学講座・園芸教室(共通講座 島ヶ原開催)	開催回数:27回、参加者数:384人	開催回数:26回、参加者数:350人	210	継続	生涯学習の場を提供することにより、いきいきとした活動や活躍ができています。	
						絵本の読み聞かせ教室	開催回数:21回、参加者数:758人	開催回数:20回、参加者数:600人	45	継続	親と子が心のふれあいを深めたり、読書のおもしろさを知らせることができた。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	施設	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
						2018年度実績値	2019年度目標値					
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	島ヶ原公民館	文化サークルまつり演芸会	開催回数:1回、 参加者数:130人	開催回数:1回、 参加者数:100人	33	継続	日頃の練習結果を発表することにより、意欲、生きがいに繋がっている。	
						文化作品まつり展覧会	開催回数:1回、 参加者数:643人	開催回数:1回、 参加者数:600人	57	継続	日頃取り組んでいる作品を展覧することにより、意欲、生きがいに繋がっている。	
						公民館サークルの育成	回数:3回	回数:3回	112	継続	住人の声を聞きながら、生きがいをもって活躍できるようサポートした。	
				阿山公民館	一般対象講座	開催回数:5回、 参加者数:76人	開催回数:6回、 参加者数:80人	38	継続	講座・教室については、概ね住民のニーズのある内容で実施できた。また、公民館使用登録団体が増加した。芸能まつり、展覧会では、住民間の文化交流を図ることができた。		
					子ども対象講座	開催回数:33回、 参加者数:442人	開催回数:33回、 参加者数:400人	226	継続			
					あやま芸能まつり	開催回数:1日、 参加者数:490人	開催回数:1日、 参加者数:450人	198	継続			
					あやま展覧会	開催回数:3日、 参加者数:1,161人	開催回数:3日、 参加者数:1,200人	4	継続			
					公民館サークルの育成	回数:8回	回数:8回	360	継続			
					読み聞かせの会	開催回数:21回、 参加者数:98人	開催回数:24回、 参加者数:110人	15	継続			

所属	施策	努力目標	取組事業名	施設	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
						2018年度実績値	2019年度目標値					
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	大山田公民館	一般対象講座	開催回数:11回、 参加者数:111人	開催回数:15回、 参加者数:250人	48	継続	幅広い年齢層の参加を考慮した教室・講座を実施することができた。アンケート内容を参考に継続し実施する。	
						子ども対象講座	開催回数:11回、 参加者数:224人	開催回数:14回、 参加者数:210人	38	継続	乳児から未就園児、小学生を対象とした発達段階に応じた教室を実施することができた。	
						リズム運動教室(園児対象)	開催回数:5回、 参加者数:175人	開催回数:6回、 参加者数:228人	60	継続	大山田保育園児(年長)を対象としたリズム運動教室を実施し、幼児の発育発達の過程における活動支援を行った。	
						サークルの育成	回数:3回	回数:3回	200	継続	大山田文化サークル団体への支援協力を実施。公民館教室から新しいサークルへの立ち上げに結び付けることができた。	
						芸術文化祭(芸能大会)	参加団体数: 7団体	参加団体数: 8団体	0	継続	日頃の成果の発表の場として、大山田サークル団体等に呼びかけ芸能大会を実施した。地域を超えた参加の呼びかけが必要である。	
						芸術文化祭(展覧会)	出展者数:802人	出展者数:900人	32	継続	日頃の成果の発表の場として、大山田地区の各種団体やサークル団体等に呼びかけ展覧会を実施した。	
						読み聞かせ会(図書室)	開催回数:23回、 参加者数:222人	開催回数:24回、 参加者数:230人	36	継続	子ども読書推進事業として、ボランティア団体の協力により実施した。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	施設	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
						2018年度実績値	2019年度目標値					
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	大山田公民館	読み聞かせ会(大山田小学校)	開催回数:43回、 参加者数:1,759人	開催回数:42回、 参加者数:1,700人	20	継続	子ども読書推進事業として、ボランティア団体の協力により大山田小学校での読み聞かせを実施した。	
					大山田公民館	読み聞かせ(子育て支援センター他)	開催回数:5回、 参加者数:265人	開催回数:5回、 参加者数:145人	0	継続	子ども読書推進事業として、ボランティア団体の協力により子育て支援センターでの読み聞かせを実施した。	
				青山公民館	まなびあおやま(一般)講座	開催回数:18回、 参加者数:278人	開催回数:18回、 参加者数:270人	30	継続	地域の人が生き生きと過ごせるよう取り組みを継続することが必要である。		
					まなびあおやま(子ども)講座	開催回数:7回、 参加者数:224人	開催回数:7回、 参加者数:230人	36	継続	子どもたちが日ごろ経験できない様々な体験を提供していくことが大切である。		
					図書室公開講座『おはなし広場』	開催回数:6回、 参加者数:446人	開催回数:6回、 参加者数:450人	26	継続	図書室での公開講座を通して読書をはじめ学ぶことの楽しさを提供することが大切である。		
					地域芸術向上支援事業	開催回数:5回、 参加者数:288人	開催回数:5回、 参加者数:290人	44	継続	地域で芸術等に取り組む活動を支援することで地域の芸術力を高め活動する市民を増やすことにつながっている。		
					地域学習講座(青少年育成)	開催回数:5回、 参加者数:330人	開催回数:5回、 参加者数:330人	115	継続	地域の伝統・文化等を体験し学ぶことで郷土の良さを知ることができる。また、継承につながる。		

所属	施策	努力目標	取組事業名	施設	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
						2018年度実績値	2019年度目標値					
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	青山公民館	読み聞かせ会(青山図書室)	開催回数:19回、 参加者数:375人	開催回数:19回、 参加者数:380人	0	継続	図書室での読み聞かせを通して読書への関心を高めることができる。	
						読み聞かせ会(青山小学校等)	開催回数:41回、 参加者数:1,119人	開催回数:41回、 参加者数:1,120人	13	継続	小学校等に出向いて読み聞かせを行うことで図書室に来る機会がない子どもや保護者に読書の楽しさを伝えることができる。	
						文化サークル連協芸能発表会	開催回数:1回、 参加者数:400人	開催回数:1回、 参加者数:400人	70	継続	日ごろの活動の発表の場を提供することで生涯学習への市民の取り組み意欲を高めることができている。	
						ふるさと美術文化展覧会	開催回数:1回、 参加者数:314人	開催回数:1回、 参加者数:350人	17	継続	日ごろの活動の発表の場を提供することで生涯学習への市民の取り組み意欲を高めることができている。	
						公民館サークルの育成	回数:4回	回数:4回	0	継続	講師としてサークルを活用したり共催事業を行うことで生涯学習への市民の取り組み意欲を高めることができている。	
						青山分館活動事業	分館数:6、 事業数:48	分館数:6、 事業数:48	1,196	継続	各地域での取り組み事業を共有・支援を行うことで切磋琢磨した取り組みが出来ている。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)		指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
				2018年度実績値	2019年度目標値						
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進 教育集会所事業経費	<p>崇広中学校を中心に校区内小学校の教師、保護者を対象に研修会等を開催し、校区内の一体となった人権同和教育を推進した。崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタを開催した。(崇広中学校区地域ぐるみの人権・同和教育推進委員会に委託)</p>	(八幡) 開催回数:1回 参加者数:2,000人	(八幡) 開催回数:1回 参加者数:1,800人	380	継続	崇広中学校区内において人権意識を高めることが出来て非常に意義のあるイベントであると考えています。	<p>【藤本委員】 ○長年の活動、取組みに敬意を表する。 崇広中や中瀬地区のように地域ぐるみで年間行事の一つになっているものもあり、人権への理解につながっている。今後とも継続充実を期したい。</p> <p>【岡山委員】 ○人権同和教育の推進に対する取り組みには、各地域での積極性に敬意を表するものがあるが、実施回数と参加人数にばかり捕らわれている気がしないでもありません。内容の精査とその裏付けとなる実態調査等の数字も気になります。</p> <p>【西井委員】 ○教育集会所は、隣保館とともに差別をなくす拠点であり、人権文化を構築していく発信基地でもある。そうした考えに立つ時、さらなる工夫と充実が求められる。</p>	
				<p>* 人権同和教育相談事業 日頃における人権同和教育の推進と合わせて、保護者からの相談の機会として開設した。</p>	(寺田) 開催回数:5回 参加者数:5人	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:10人		継続	今後も相談しやすい関係づくりを深めていく。		
				<p>*中瀬ふれあい夏祭り人権トーク&コンサート 幅広い市民への啓発活動として、夏祭り人権トーク&コンサートを開催。 *寺田フィールドワーク 地域や教員の要望に応じ、地区内フィールドワークを行うことにより差別の不合理さや差別をなくすために行動する人たちの思いに触れ、人権意識の向上を目指した。 *小中人権同和教育講演会 小中のPTAと共催し、保護者を対象とした講演会を開催した。</p>	(寺田) 開催回数:9回 参加者数:1,560人	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:1,400人	470	継続	地域住民との交流を図りつつ、差別撤廃に向けて発信し啓発する場となった。		
				<p>* 城東中学校区小3・6人権学習会/城東中学校1年人権学習会 部落差別をはじめとするあらゆる面で差別の撤廃に向けて小中学習会を開催した。</p>	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:581人	(寺田) 開催回数:9回 参加者数:540人		継続	対象となる児童の状況等を事前に把握し、学年ごとにやり方を工夫していく。		
				<p>* 寺田教育を考える母(保護者)の会 部落差別に負けない、許さない子どもの育成と学力保障を実現するため、課題解決に向けた部落問題学習を行い、保護者同士のつながりを深めた。 * 保小中連絡会 保・小・中・高の教員と寺田教育集会所が、地区生の課題や部落問題について共通認識を持ち、連携を取りながら月に一度、課題解決をはかった。 * 三者懇談会 保育園・小学校・中学校が、寺田教育集会所と寺田支部と地区生の状況と人権教育について共通認識を持つための懇談会を開催した。(年2回ずつ)</p>	(寺田) 開催回数:31回 参加者数:490人	(寺田) 開催回数:25回 参加者数:450人		継続	学校や関係団体と連携し、保護者とも事業に参画するなど積極的に進めてきた。		
				<p>伊賀地区校区連絡会議</p>	(前川) 開催回数:10回 参加者数:130人	(前川) 開催回数:10回 参加者数:130人	-	継続	児童・生徒の生活や学習に関わる情報を保小中高で共有し、同和教育の充実を図るために継続して実施する。		

所 属	施 策	努力目標	取 組 事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指 標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
					2018年度実績値	2019年度目標値					
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	教育集会所事業経費	* 大山田保育園解放保育懇談会 * 大山田小学校教育懇談会 * 大山田中学校教育懇談会	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:96人	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:100人	0千円	継続	子どもたちの実態をふまえ、幼稚園、小中学校で懇談会を実施し、解放保育・人権教育を充実しました。	【西井委員】 ○人権にかかわる県内の意識調査や実態調査の結果を見ると、「人権侵害を受けた」と答えた人の中でおよそ4割前後の人が「誰にも相談しなかった」「何もせず我慢した」と答えている。相談体制の充実は喫緊の課題である。人権教育推進事業の一層の充実を図ることがそうした課題の一役を担うことになるのではないか。
				青山学校同和教育推進委員会	* 青山管内の保育園・小学校・中学校の連携を図るため、事務局会の開催・人権研修会の開催・機関紙の発行・実践交流会・実践報告集の作成を実施した。	(老川) 開催数:年11回 延べ参加者数:105人	(老川) 開催数:年11回 延べ参加者数:110人	7	継続	管内の保小中の子ども様子が分かり、校種間でつながることができた。今後も必要な取り組みである。	
				保小中同和教育実践交流会	* 青山管内の保育園・小学校・中学校の職員の人権意識の向上を図った。	(老川) 開催数:年5回 延べ参加者数:102人	(老川) 開催数:年5回 延べ参加者数:95人	9	継続	管内の保小中の教職員の人権意識の向上の一助となり、人権教育の周知につなげることができた。	
				推進委員会・実践報告書作成・推進委員会だより発行	* 青山管内の保育園・小学校・中学校の教職員の人権意識の向上を図った。 * 青山管内での学校人権同和教育の周知を図った。	(老川) 開催数:年1回 参加者数:7人 発行:年1回 発行:年3回	(老川) 開催数:年1回 参加者数:7人 発行:年1回 発行:年3回	187	継続	管内住民に学校人権同和教育の周知の一助となっており、継続する必要がある。	
			人権教育推進事業	部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や、差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品の制作をつうじて行った。	(八幡)識字教室 開催回数:46回 参加者数:361人	(八幡)識字教室 開催回数:43回 参加者数:300人	136	継続	参加者同士が共同作品を製作することでより繋がりのある活動になっている。		
				生活講座、識字教室	(前川) 開催回数:98回 参加者数:1050人	(前川) 開催回数:95回 参加者数:1000人	-	継続	差別の結果による非識字を解消するために識字活動を継続して実施する。		
				生活講座、識字教室	(奥馬野) 開催回数:37回 参加者数:402人	(奥馬野) 開催回数:31回 参加者数:400人	217	継続	* 部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や、差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品製作を通じて行いました。		

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
					2018年度実績値	2019年度目標値					
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	<p>* 地域住民の教養を高める講座を開催した。 * 部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や、差別の不合理を伝え、差別をなくすための啓発活動を共同作品制作を通じて行った。 * パソコン技術向上を図る教室を開催した。</p>	<p>(老川) ・生活講座 開催数: 年19回 延べ参加者数121人 ・識字教室 開催数: 年24回 延べ参加者数: 136人 ・パソコン教室 開催数: 年24回 延べ参加者数: 122人</p>	<p>(老川) ・生活講座 開催数: 年20回 延べ参加者数110人 ・識字教室 開催数: 年22回 延べ参加者数: 100人 ・パソコン教室 開催数: 年22回 延べ参加者数: 95人</p>	161	継続	地域住民の生きがいのある生活につながっており、継続する必要がある。	<p>【西井委員】 ○人権推進リーダー育成という観点からも、「地域学習会や「友の会」のさらなる充実を期待したい。</p>
					<p>地域の人々の暮らしと歴史を学び、差別を見抜き差別をなくす仲間づくりと人権感覚豊かな子どもの育成を図った。</p>	<p>(八幡) 開催回数34回 参加者数: 1,350人</p>	<p>(八幡) 開催回数: 28回 参加者数: 1,000人</p>	30	継続	人権感覚豊かな子どもたちの育成が図れている。	
					<p>* 小学生地区学習会 地域の人々の暮らしと歴史を学び、差別を見抜き差別をなくす人権感覚豊かな子どもの育成を図った。 * 子ども教室 学力保障と差別をなくす仲間づくりを進めるために、長期休業期間に学習会や絵本読み聞かせ会を開催した。</p>	<p>(寺田) 開催回数: 28回 参加者数: 1,016人 (寺田教科学習会) 開催回数: 26回 参加者数: 228人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数: 76回 参加者数: 1,116人 (寺田絵本読み聞かせ会) 開催回数: 1回 参加者数: 12人</p>	<p>(寺田) 開催回数: 31回 参加者数: 1,000人 (寺田教科学習会) 開催回数: 25回 参加者数: 200人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数: 65回 参加者数: 750人 (寺田絵本読み聞かせ会) 開催回数: 1回 参加者数: 15人</p>	63	継続	地域探検などのふれあいを通し、学力保障とともに生活体験を増やす活動をした。少子化により人数が減少する中、今後も差別をなくしていく仲間として団結していく必要がある。	
					<p>小学生地区学習会を行った。</p>	<p>(下郡) 開催回数: 42回 参加者数: 601人</p>	<p>(下郡) 開催回数: 37回 参加者数: 512人</p>	-	継続	対象者が減少する中、他地区の児童も含めて実施できたことで内容が充実した。	
					<p>小学校地区学習会</p>	<p>(前川) 開催回数: 39回 参加者数: 1,510人</p>	<p>(前川) 開催回数: 35回 参加者数: 1,500人</p>	-	継続	部落差別を見抜き、差別をなくす仲間づくりを進める学習を実施する。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	夏季学習会・冬季学習会を実施し、補充学習、体験学習をつうじて学力保障、仲間づくりや地域交流を図った。	(奥馬野) 開催回数:25回 参加者数:867人 (ライトピア子ども会) 開催回数:11回 参加者数:106人	(奥馬野) 開催回数:20回 参加者数:900人 (ライトピア子ども会) 開催回数:15回 参加者数:150人	-	継続	地域の小学生を対象として夏休み・冬休み期間に、確かな学力を身につけ、課題や復習問題に取り組む機会を提供した。あわせて、保護者とともに体験活動を行い地域交流や仲間づくりが図られている。
					将来の展望を持ち、仲間とともに自己実現を図っていく学習会の開催	(八幡)中学生地区学習会 開催回数:38回 参加者数:607人	(八幡)中学生地区学習会 開催回数:40回 参加者数:600人	152	継続	中学生の学力向上と人権意識の向上に寄与している。
					中学生地区学習会・高校生友の会を開催した。	(下郡) 開催回数:30回 参加者数:532人 (下郡高校生友の会) 開催回数:4回 参加者数:24人	(下郡) 開催回数:33回 参加者数:575人 (下郡高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:50人	-	継続	地区学習会では対象者が減少する中、他地区の生徒も含めて実施できたことで内容が充実した。友の会は高校生が少ないため社会人も含めて募集をしたものの、参加意識の向上に至っていない。ただし相談窓口として残しておきたい。
					* 中学生地区学習会 地域の人々の暮らしと歴史を学び、差別を見抜き差別をなくす人権感覚豊かな子どもの育成を図った。	(寺田) 開催回数:34回 参加者数:312人 (寺田教科学習会) 開催回数:52回 参加者数:290人 (寺田高校生友の会) 開催回数:37回 参加者数:133人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数:2回 参加者数:105人	(寺田) 開催回数:36回 参加者数:450人 (寺田教科学習会) 開催回数:47回 参加者数:350人 (寺田高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:30人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数:4回 参加者数:100人	190	継続	小・中・高校生の縦のつながりを意識した事業を取り入れてきた。今後の活動のリーダーとして育成していく。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進 人権教育推進事業	中学生地区学習会・高校生友の会	(前川) 開催回数:93回 参加者数:1520人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数:3回 参加者数:81人	(前川) 開催回数:90回 参加者数:1,400人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数:3回 参加者数:90人	-	継続	部落差別の解消を目指し、行動に移せる生徒を育てる学習を実施する。 また、差別解消に取り組んでいる青年層と次の世代(中・高)との交流を深める。	
				中学生地区学習会	(奥馬野) 開催回数:28回 参加者数:430人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数:8回 参加者数:52人	(奥馬野) 開催回数:30回 参加者数:450人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数:8回 参加者数:40人	奥馬野 332千円 学習会 28千円	継続	【中学校地区学習会】 * 地域の人々の暮らしや歴史を学び、差別を許さない確かな認識や豊かな人権時感覚をもった仲間づくりを進め、基礎学力をつけ未来を切り開く進路保障の取り組みを進めました。 【中学生高校生学習会】 * 夏休み・冬休み・春休みを利用して、確かな学力を身につけ進路を保障していくために、課題や復習問題に取り組む機会を提供しました。地域在住の先輩や大学生等に講師を依頼することで、勉強だけでなく将来のキャリアデザインを描くアドバイスも行っております。	
				奨学金と保護者、学校関係者に対して、奨学金の意義と人権同和问题に対する理解を深めた。	(八幡) 開催回数:2回 参加者数:154人	(八幡) 開催回数:2回 参加者数:180人	85	継続	奨学金の意義を保護者や学校関係者に対して深く周知することが出来る。	
				人権教育講演会、学習会を行った。	(下郡人権と平和学習会) 開催回数:3回 参加者数:78人 (依那古草の根会議) 開催回数:1回 参加者数:210人 (上野南中学校区学習会) 開催回数:1回 参加者数:85人 (下郡老人クラブ学習会) 開催回数:1回 参加者数:64人	(下郡人権と平和学習会) 開催回数:2回 参加者数:50人 (依那古草の根会議) 開催回数:1回 参加者数:200人 (上野南中学校区学習会) 開催回数:1回 参加者数:100人 (下郡老人クラブ学習会) 開催回数:1回 参加者数:60人	60	継続	他の主体と連携して実施できたことはよい啓発に結びついているものと認識している。今後も効果的な内容の講演会・学習会を提供していきたいと思っております。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	人権教育講演会、学習会	(前川) 開催回数:1回(特別解放講座) 参加者数:50人	(前川) 開催回数:1回(特別解放講座) 参加者数:75人	-	継続	部落差別をなくす活動を広く伝える場として継続して実施する。
					人権教育講演会、学習会 * 青山管内の保育園・小学校・中学校の教職員の 人権意識の向上を図った。	(老川) 開催数:年3回 延べ参加者数:192人	(老川) 開催数:年3回 延べ参加者数:200人	9	継続	人権同和教育の推進の一助となっており、継続の必要がある。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
文化財課	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	3 2 1 文埋郷 化蔵土 財文の に化文 関財の する保 諸護の 資料と の活用 と活用	文化財保存経費	<ul style="list-style-type: none"> * 文化財保護審議会(3回)、文化財保護指導委員会(1回)を開催し、2件を新たに文化財として指定した。 * 指定文化財の調査・管理、史跡の草刈など環境整備事業を実施した。 * 指定文化財の保存修理に補助金を支出した。 * オオサンショウウオをはじめ天然記念物の保護に努めた。 * 指定文化財の説明看板を1ヶ所設置した。 * 書籍『伊賀市の文化財』を販売し、文化財の啓発に努めた。 	指定文化財の調査管理:62件	指定文化財の調査管理:50件	5,156	継続	県内最多の指定文化財が所在する当市では、文化財の適切な保護・保存と、周知に努めている。	【東委員】 ○上野天神祭がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、市民にとって大きな喜びである。長く保存伝承されるよう修理を続けてほしい。
				<ul style="list-style-type: none"> * 県指定有形文化財春日神社拝殿の保存修理事業(解体・地盤調査・木工事)を助言・指導・監督した。 	工事進捗率36%	工事進捗率53%	8,717	継続	事業主体である春日神社と連携し、適切に修理事業を進めた。	【岡山委員】 ○数字的には若干の進展はみられるが、投入予算から考えると実績値及び目標値は論外に思える。
				<ul style="list-style-type: none"> * 国重要無形民俗文化財上野天神祭のダンジリ行事の民俗文化財伝承・活用等事業(東町楼車・鍛冶町楼車)を助言・指導・監督した。 	事業進捗率(東町)70%	事業進捗率(東町)100% (福居町)20%	3,818	継続	事業主体である上野文化美術保存会と連携し、適切に修理事業を進めた。	
				<ul style="list-style-type: none"> * 国重要文化財猪田神社本殿の保存修理事業(屋根葺き替え)を助言・指導・監督した。 	工事進捗率59%	工事進捗率100%	934	継続	事業主体である猪田神社と連携し、適切に修理事業を進めた。	
				<ul style="list-style-type: none"> * 直営2館(柘植, 大山田)、指定管理4館の文化財施設を適切に維持管理し、入館者を増やすよう啓発した。 	入館者数 12.29人/日	入館者数 13.40人/日	26,154	継続	文化財施設の周知に努めるとともに、指定管理者である伊賀市文化都市協会と連携し、入館者を増やすよう努めた。	【岩佐委員】 ○文化財施設は、伊賀市文化都市協会との連携で、さまざまなイベントが増えたことで周知が高まってきていると思いますが、大半が無料、低料金となっている。安くしないと人が来ない、広がらないのではなく、お金を払ってでも行きたくなる内容を考慮し、伊賀の芸術文化水準を高める意識を求めます。費用対効果ではありませんが、投資額が大きいのではないのでしょうか。入館者を増やす目的イベントもよいが、収益にもつながる工夫、内容を求めます。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見
					2018年度実績値	2019年度目標値				
文化財課	歴史や文化遺産を守り、 未来へと引き継ぐ	3 2 1 文埋郷 ・化蔵土 保財文の 存に化文化 及関財化 びすの遺 活用産の 用諸護の 資と保 料活護 の用と 収集活用	埋蔵文化財発掘調査経費	* 対象となる民間・公共の開発事業がなかったため、埋蔵文化財の発掘調査を実施しなかった。	試掘調査件数11件 立会調査件数7件	試掘調査件数5件 立会調査件数5件	0	継続		
			上野城高石垣計測事業	* 上野城の高石垣で定点測量を実施し、高さや位置の変化を観察した。	測量実施地点数16点	測量実施地点数11点	262	継続	石垣崩落の危険性を把握できるよう努めた。	【藤本委員】 ○年々整備されていて努力の跡がうかがえる。今後も丁寧な説明書きの設置を期待したい。
			歴史まちづくり事業 (歴史的風致維持向上計画進捗管理事業)	* 伊賀市歴史的風致維持向上計画(上野、島ヶ原、青山)に基づき、2回の法定協議会、1回の庁内会議を開き、計画変更を行った。	計画進捗率10%	計画進捗率15%	196	継続	庁内関係各課と連携し、事業の進捗把握に努めるとともに、重点地区地域と協議を重ねた。	
			伊賀国庁跡保存整備事業	* 公有地化を実施した用地の除草作業等環境整備を実施した。 * 史跡整備を図るため、基本設計を策定した。	史跡整備進捗率:15%	史跡整備進捗率:37%	7,200	継続	史跡整備を具体化するための第一歩である基本設計を策定することができた。	【藤本委員】 ○市民が国庁の歴史を気軽に学べるような憩いの場を作りたい。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見			
					2018年度実績値	2019年度目標値							
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	1	市民の学習活動の支援	図書館管理経費 図書室管理運営経費 ・ 図書館の利用促進	* 市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実、提供に努めた。 * 図書館未利用者の利用者を促進するため「ナイトライブラリー」や「夜の図書館探検」等を開催し、図書館の仕組みを知ってもらうとともに、若い世代を対象に、自分だけの本の表紙を作成する「ルリユール講座」を開催した。 * 忍者月間には「忍者図書館」として、忍者特集や特別企画展示を行い利用促進に努めた。	貸出利用者数 計85,679人	貸出利用者数 計86,500人	86,055			【藤本委員】 ○時代に応じた様々な取り組みを考え実施されていることがよく分かり、今後とも新たな工夫と企画を続けられることを期待したい。 【加納委員】 ○「ナイトライブラリー」や「おはなし電車」等工夫した取り組みは今後も期待している。 活字離れが急速に進む中、改めて本を読むことの素晴らしさ充実感に出来る機会を市民に与える取り組みを投入してほしい。 【岩佐委員】 ○趣向を凝らした取り組み、今後も継続を期待します。		
						上野:71,082人	上野:72,000人	82,442	充実	「交流型図書館」として機能充実を図る必要がある。			
						いがまち:3,719人	いがまち:3,200人	491	継続	利用の促進を図るとともに、地域住民に親しまれる図書室運営を目指した。			
						島ヶ原:368人	島ヶ原:400人	112	継続	少い数ではあるが近隣市利用に繋がっている。			
						阿山:2,646人	阿山:3,000人	365	継続	身近で、利用しやすい図書室づくりをすすめた。			
						大山田:3,805人	大山田:3,800人	336	継続	催し物の実施等により図書室利用者数を促進させる必要がある。			
						青山:4,059人	青山:4,100人	2,309	継続	2年後に控えている青山支所との複合化に向け調整を行っている。			
		2	利用者サービスの充実	・ 図書の貸出	* 「図書室だより」や分館の図書室広報誌等で、新着図書、おすすめ図書の紹介や催し物等開催の情報発信を行った。 * 図書館情報システム連携により、各図書館間や三重県立図書館等との相互貸借貸出等、利便性の向上を図った。 * 地域の特性を活かした図書室運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に取り組んだ。 * 校長会などを通じて団体貸出のPRを行うとともに、市内小学校へのセット文庫の定期配送サービスを開始し、学校図書館支援を行った。	貸出冊数 計320,659冊 (うち児童書 130,393冊)	貸出冊数計 308,900冊 (うち児童書 120,300冊)						【藤本委員】 ○パソコンに単語を入力して関連図書が一覧できるようになるとありがたい。 【岩佐委員】 ○高校生への何らかの取り組みを検討していただきたい。
						上野:271,593冊 (うち児童書 104,335冊)	上野:270,000冊 (うち児童書 100,000冊)		充実	新刊図書購入及び学校図書館支援の充実を図る必要がある。			
						いがまち:13,099冊 (うち児童書 7,921冊)	いがまち:12,000冊 (うち児童書 4,000冊)		継続	地域の利用特性を生かした貸出サービスの推進を図った。			
						島ヶ原:761冊 (うち児童書 398冊)	島ヶ原:800冊 (うち児童書 300冊)		継続	広く情報発信を行い、予約図書が増えている。			

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見		
					2018年度実績値	2019年度目標値						
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	2	・図書の貸出		阿山:10,304冊 (うち児童書 5,437冊)	阿山:11,000冊 (うち児童書 3,500冊)		継続	現状予算内で、バランスの取れた新刊購入に心がけた。	【東 委員】 ○上野図書館の駐車場が満車で止められないことがあるのが残念である。郵便局の裏にもあるが体の不自由な方には少し遠い。 【岩佐委員】 ○身近な地域での配送サービスは、移動が不自由な方や忙しい方にとって大変ありがたいと思います。 【岡山委員】 ○スタッフの努力のたまものです。継続と一層の充実に努められたい。		
					大山田:12,743冊 (うち児童書 7,179冊)	大山田:12,500冊 (うち児童書 7,000冊)		継続	新着図書の紹介、イベント開催の情報発信を継続実施する。			
					青山:12,159冊 (うち児童書 5,123冊)	青山:12,500冊 (うち児童書 5,500冊)		継続	図書室内での講座や関係事業を実施し図書室の存在をPRし読書活動推進に取り組んでいる。			
			・図書配送サービス	* 図書館情報システムの連携及び配送サービスにより、身近な地域で市内各図書館所蔵資料を受け取れる等、利便性の向上を図った。 * 市内小学校へセット文庫を配送し、児童の図書利用促進を図る。	配送書籍数計 24,180冊	配送書籍数計 25,500冊						
					上野:9,130冊	上野:10,000冊		継続	相互貸借の活用及び学校図書館と連携により、継続実施する。			
					いがまち:4,545冊	いがまち:4,600冊		継続	他の図書室と連携を強化してサービス向上に努めた。			
					島ヶ原:795冊	島ヶ原:900冊		継続	準新刊を入れることにより、利用者も図書選択が増えた。			
					阿山:3,395冊	阿山:3,500冊		継続	利用者の利便性確保に寄与できた。			
					大山田:3,626冊	大山田:3,700冊		継続	上野図書館所蔵資料の一時移管を実施するなど利便性向上に努めた。			
					青山:2,689冊	青山:2,800冊		継続	配送サービス活用のPRを継続して行った。			

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見	
					2018年度実績値	2019年度目標値					
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3	読書活動の支援と充実	・読み聞かせ会等の実施	* 市内の各ボランティアグループの協力を得て、子どもが本に親しむ機会づくりのため、各図書館において、絵本や紙芝居の読み聞かせ会を実施した。 * 学校などへ出向きブックトークや読み聞かせ会を実施するほか、伊賀鉄道と連携し「おはなしでんしゃ」を発車したり、他団体と連携し読み聞かせ事業を行うなど充実を図った。 * 同じ題名の各国の絵本を活用し、多言語での読み聞かせ会を開催した。	開催数計302回	開催数計300回				【加納委員】 ○多言語での読み聞かせ大変だと思いますが、機会を増やしてほしいと思う。 外国籍の子ども達とその保護者にとって、とても有意義だと思う。 【東委員】 ○たくさんの外国籍の子どもたちのために多言語読み聞かせは喜ばしいことで、今後も続けてほしい。 【岩佐委員】 ○市内各地で読み聞かせサークルが活発に地域や学校で活動されていますが、学校教育の一環であるならばまかせっぱなしではなく、更に充実した内容のためにも学校との検討を求めます。(年1回でも) 多言語での読み聞かせ会を更に積極的に取り入れていただき、人の友好も図れるようなグローバル化を目指していただきたい。 【岡山委員】 ○スタッフの努力のたまものです。継続と一層の充実に努められたい。
						上野:75回	上野:80回		継続	各ボランティアグループや各団体と連携し、継続実施する。	
						いがまち:54回	いがまち:30回		継続	想像力豊かな子どもの育成に努める。	
						島ヶ原:21回	島ヶ原:21回		継続	子どもや高齢者の方の笑顔を見ると、読み聞かせの必要性を感じる。	
						阿山:25回	阿山:24回		継続	ボランティアグループと連携し、本に親しむ機会づくりができた。	
						大山田:67回	大山田:65回		継続	ボランティアグループや各団体と連携し、継続実施する。	
						青山:60回	青山:80回		継続	ボランティアグループや各団体と連携し、継続実施している。	
						特集実施数計124回	特集実施数計126回				
						上野:42回	上野:40回		充実	時事情報や市民ニーズをタイムリーに把握しつつ、関連図書資料を充実する必要がある。	
						いがまち:16回	いがまち:20回		継続	市民の読書への関心を高める。	
				・特集コーナーの設置	* 「郷土の歴史夜咄会」を開催し、伊賀の歴史を学ぶ機会を充実させるとともに、関連資料の歴史企画展示を行った。 * 市民ニーズや時事情報を参考にテーマを決め、関連資料特集コーナーを設け利用促進に努めた。				【東委員】 ○書店に、特設コーナーが増えてきていて、伊賀人であることを誇らしく思うことがある。 【岩佐委員】 ○郷土の歴史を知る、学ぶことは関心も高いと思います。会場が上野図書館だけでなく各地域でも開催を希望します。(年1回でも)		

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2018年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	自己評価	評価委員の意見		
					2018年度実績値	2019年度目標値						
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3	読書活動の支援と充実	・特集コーナーの設置		島ヶ原:2回	島ヶ原:13回		継続	これからもわかりやすい配置づくりが必要。	【岩佐委員】 ○限られた狭いスペースの中での工夫ご苦労様です。	
						阿山:25回	阿山:12回		継続	充実した特集コーナーづくりに努めた。		
						大山田:28回	大山田:20回		継続	時事情報や時期に応じた親しみやすいコーナーづくりを継続する。		
						青山:21回	青山:21回		継続	地域と環境に応じた実施を継続していく。		
						応募数:339点	応募数:350点		継続	継続事業として実施する。		
		4	資料の収集と活用の推進	資料の収集と活用	* 市民からのリクエストや司書が選書した新刊図書などを購入し、資料の充実を図った。 * 古文献整理調査や古文書に関するレファレンス(調べもの相談)に取り組んだ。 * 古文書「山論文書」が市の指定有形文化財に指定されたことを受け、関連講座を開催するとともに関連資料の企画展示を行い、広く市民に周知した。	図書購入冊数 計6,952冊	図書購入冊数 計7,970冊					【東委員】 ○山論文書の有形文化財指定は伊賀の歴史に一つの光が当てられたということであり、今後の古文書発掘にはずみがつくだろう。 【岡山委員】 ○古文書の存在の周知とそれに親しむ事業の実施を考えたらどうであろうかと思う。たとえば生涯学習の場としての教材利用や勉強会の実施等。
						上野:6,000冊	上野:7,000冊		継続	歴史・貴重資料を有効的に活用する必要がある。		
						いがまち:300冊	いがまち:300冊		継続	市民のニーズを反映した様々な分野の資料の収集に努めた。		
						島ヶ原:16冊	島ヶ原:20冊		継続	要望に応えるべく資料検索を行った。		
						阿山:190冊	阿山:200冊		継続	調べもの相談等の要望があれば、納得いただけるよう努めた。		
						大山田:182冊	大山田:250冊		継続	市民が求めている資料をできる限り収集するよう努めた。		
						青山:264冊	青山:200冊		縮小	購入予算の減額により購入冊数を縮小せざるを得ない。		